

2024年7月5日

株式会社三菱UFJ銀行

「& BANK」の展開開始について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、2022年より、決済や口座開設、資産運用サービスなどを外部企業と連携して提供する BaaS^[1]事業を進めてまいりました。今般、一般的なネットバンキング機能を備えたアプリを外部企業へ提供する基盤「& BANK」の開発目途がついたこと、「& BANK」を活用したパートナー候補企業との検討状況についてお知らせいたします。



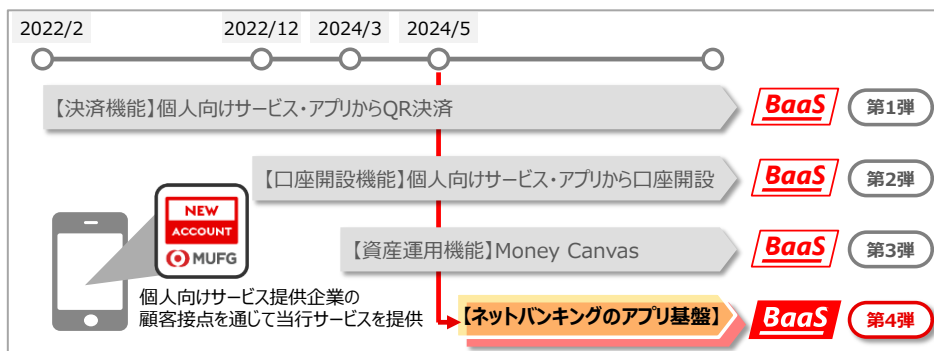
MUFG は、BaaS 事業の中でさまざまなパートナーとのコラボレーションを実現してまいります

本件は、2024年3月6日に発出済みのプレスリリース（資産形成総合サポートサービス「Money Canvas^[2]」の BaaS 展開について）に次ぐ第4弾の取り組みであり、MUFG の BaaS 事業の中核を担うサービスです。

「& BANK」を礎として、エンターテインメント、不動産、小売、インフラなど、金融やフィンテックの範疇に留まらない多種多様なパートナー候補企業との連携を活発に議論しており、提携企業のブランドイメージに合わせたカスタマイズや情報発信、提携企業の商流に組み込まれた多様な金融サービスを提供します。

当行の金融機能と外部企業とのシナジーを一層発揮することで、中期経営計画における最重点項目である「顧客基盤の拡大」と「LTV^[3]の最大化」に引き続き取り組んでまいります。

【BaaS 事業展開のロードマップ】



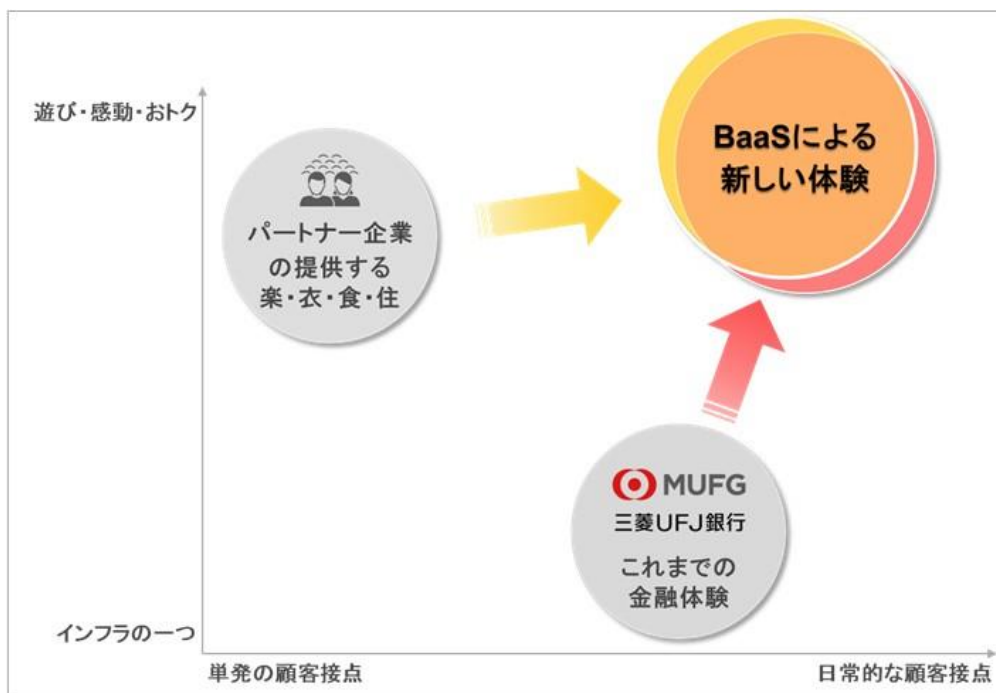
MUFG は、BaaS を独自の視点で捉え、ロードマップに従い事業開発を進めています

1. 「& BANK」を展開する背景・目的

近年、“コト消費”、“推し”、“自分らしさ”、“タイバ”など、生活・消費の価値観が変容する中、金融領域においても、デジタル技術を積極的に活用したシームレスかつより快適で豊かな体験の創出が重要な差異化要因となっています。

当行は、2022年より外部企業のサービスを通じて金融機能を提供する BaaS の展開に戦略的に取り組み、株式会社 NTT ドコモとの共同開発による「d スマートバンク」をはじめ、個人向けサービス提供事業者への口座開設機能や QR 決済機能、資産形成プラットフォーム「Money Canvas」の提供へと、機能やコンテンツを順次拡張するとともに、外部企業との連携を強化してまいりました。

今回の「& BANK」のリリースは、口座開設、預金・為替や各種ローンなど、更に幅広い当行商品ラインナップを外部企業との連携を通じてお客さまへお届けする手段となるとともに、外部企業に対しても、新たな情報発信・ブランディングの機会やお客さま接点を提供するものです。



MUFG とパートナー企業の強み・アセットを活かし、新たな価値提供を目指します

2. 三菱UFJ銀行の汎用 BaaS アプリ基盤「& BANK」の開発の経緯および特長

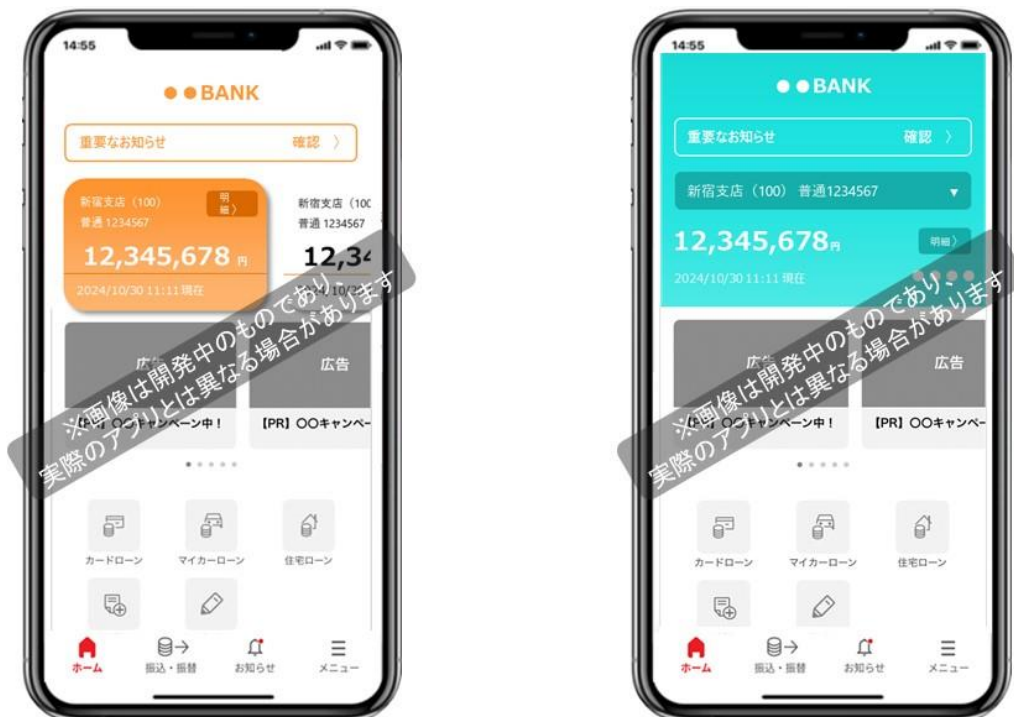
当行の「& BANK」は、メガバンク初の BaaS 基盤として、これまでの「三菱UFJダイレクト」アプリとは全く異なる設計思想に基づいて開発されました。名称である「& BANK」には、パートナー企業によりそい、多様なニーズへ対応したいという思いが込められています。

汎用 BaaS アプリ基盤として、機能面では主に以下の特長を有しています。

- 提携企業のお客さま接点やマーケティング戦略に応じたプロアクティブな情報発信機能
- 提携企業の戦略やブランドイメージに応じて柔軟にカスタマイズ可能な拡張性
- 印鑑レス・来店不要の快適かつスピーディな口座開設機能

- 給与振り込みなどの生活決済に活用可能な預金・為替機能、各種ローン機能
- 堅牢なセキュリティによる安心・安全
- 国内随一を誇る当行店舗網・ATM との連携

【UI イメージ】(※画像は開発中のものであり、正式リリース版とは異なる場合があります)



3. 提携企業と BaaS を通じて実現に取り組むテーマ

「&BANK」を活用した外部企業とのコラボレーションの準備が既に複数進行中です。今後準備が整い次第、サービスを順次リリースしてまいります。本項では、提携候補企業である 2 社様との取り組みの内容についてお知らせします。

① 「もっと推す」を応援する — 金融×エンターテインメントのシナジーへの挑戦



エンターテインメントは、いつの時代も人生に喜びや彩りを添えてくれる存在です。時代や社会環境によって求められる「感動体験」は進化する一方で、時代を超えて人々に愛され続けるコンテンツもあります。

当行は、エンターテインメントとのコラボレーションをテーマとした銀行アプリのリリースを検討しており、コラボレーションの第一弾として、株式会社バンダイナムコエンターテインメント様の人気 IPTM「アイドルマスター (765PRO ALLSTARS)」とのキャンペーン実施を予定しております。

2025 年に 20 周年を迎える「アイドルマスター」のプロデューサー (ファンの呼称) の皆様の情熱に触れながら、「金融×エンタメ」を融合したこれまでにないお客さま体験の創出に挑戦します。

なお、エンターテインメントをテーマとした本アプリの提供は当行が行い、今後複数の IP とのコラボレーションを展開予定です。

② 自分らしく暮らし、軽やかに住み替える — 住宅×金融のネクストステップへ



住宅購入と金融はいつも切り離せない関係にあります。一方、コロナ禍を契機としたリモートワークの進展などとともに、「住まい」に対する価値観には現在進行形で変化が生じています。

当行は、株式会社ツクルバ様と、BaaS を起点とした包括的協働の検討に関する覚書を締結いたしました。同社は、オンラインで 46 万人超^[4]の利用者を誇る中古・リノベーション住宅の流通プラットフォーム「cowcamo (カウカモ)」を起点に、住まいの選択肢を広げることで、誰もが個性豊かな暮らし方・生き方を実現できる世界を目指されています。当行は当該事業の社会的意義に深く共感し、目指す世界の実現の一助を担いたいという思いから、本覚書の締結に至りました。

4. 今後の展開について

上記の他にも、MUFG のリテール・デジタル事業本部のスローガンの一つである「ずっとつながる、ずっとよりそう」を実現すべく、当行の BaaS 事業では 100 社以上のパートナー候補企業とコラボレーションテーマを議論しています。

前掲の 2 社に加えて、小売事業者、決済ソリューション事業者、金融事業者など数社のパートナー候補と「新しい金融サービス」検討の覚書を締結しております。購買×金融のワンストップ提供、金融のファンビジネスや地域創生への貢献、異業種間のデータ活用に基づくよりデータドリブンなマーケティング手法などの検討に取り組んでおります。

今後も、さらに多様化していくお客さま・提携企業のニーズや、実現したい理想に真摯に耳を傾けながら、当行は「& BANK」を含めた BaaS サービスの拡充に取り組んでまいります。

^[1] 「Banking as a Service」の略。一般的に銀行が取り扱う業務の一部機能を外部に提供するサービスの呼称ですが、MUFG は BaaS の定義を独自に捉えなおし、様々な外部のパートナー企業とのコラボレーションにより新たな顧客体験を提供することを目指しています。

^[2] Money Canvas とは、まっしろなキャンバスに絵を描くように、自分に合った資産形成プランを描き実現することを目的とした、資産形成総合サポートサービスです。お客さまひとりひとりの多様なニーズにお応えできるように、オープンな金融プラットフォームとして MUFG グループ内外の多くの企業と連携することで、豊富な金融商品やコンテンツを取り揃えています。

^[3] 「Life Time Value」の略。顧客生涯価値を意味します。

^[4] Intellectual Property の略。キャラクターなどの知的財産。

^[5] 2024 年 2 月時点。

以 上